

2022 年度 学校法人 三幸学園 福岡こども専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 石川 好典・林 成志

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

・学修者本位の教育の提供

→学科担当制を導入することで、学生フォロー・育成の拡充を図る。

・ICT 教育の更なる充実と新たな教育の提供へのチャレンジ

→オンライン授業のスキルアップと ICT 活用した授業展開のノウハウを共有し質の高い授業展開を行う。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・業界の現状理解とニーズを踏まえた学生育成・指導を行うこと
→「知る・実践・理解」までの授業・指導に偏り、「指導ができる」レベルまでの人材育成ができていない。

② 今後の改善方策

- ・保育現場への訪問強化を図り、業界のニーズに合わせた実践的な職業教育の場を確立

③ 特記事項

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・WEB での出席確認・成績管理等情報システム化により一部業務の改善は図れているが、それらを最大限活用する為の ICT スキルが教職員に備わっていない。

② 今後の改善方策

- ・三幸学園本部管轄である IT スキル・リテラシー向上研修の参加、活用
- ・保育現場等への訪問を通じて業界の ICT 化動向を常に把握し、都度業務の見直しを図る

③ 特記事項

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・時代のニーズに合った“実践的な職業教育”の確立

② 今後の改善方策

- ・在籍学生数の実践の場の創造（新しいプロセスの開発）
- ・現場の声を教育に活かすための園訪問強化（新しい育成システムの開発）
- ・学園理解をふまえた産学連携の関係性確立（新しい市場の開発）

③ 特記事項

特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・業界の最新情報や働く上で必要とされる力を理解し、リアルタイムで適切に伝えること

② 今後の改善方策

・園訪問強化に伴い、現場より得た情報を授業や学校生活の中で積極的に学生に伝達する
 ・計画的な卒業生訪問を実施し、在校生指導と現場ニーズの相違がないか常に見直しを図る

③ 特記事項

特になし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・実践教育の場の確保不足

→一部保育現場との連携に偏りがあるため、全学生へ提供へと繋がる実践教育の場の拡充を図ることが必要。

② 今後の改善方策

- ・保育園・幼稚園との連携に留まらず、地域の子育て世代のニーズに合った新たな実践の場を創造
- ・実践教育の場の拡充に伴う、教職員側の育成・指導の認識統一およびスキルアップを図る

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・学習形態に合わせた通信環境の十分な確保
- ・学外活動実施に伴う時間の確保

② 今後の改善方策

- ・通信環境の整備および学園情報システム部との連携を強化し、適切な学習環境を担保
- ・一部学科学年にて週4登校とし、自主実習やインターンシップ等が実施できる環境の提供

③ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・福岡県専修学校各種学校協会の規定に従い、適正に実施

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018 年度～2022 年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・コンプライアンス、個人情報管理に関する更なる理解促進

② 今後の改善方策

・教職員全員を対象としたコンプライアンス研修を実例紹介も併せて実施

③ 特記事項

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・保育園、幼稚園に限らず、地域企業との連携の強化および地域に根付いた学校運営

② 今後の改善方策

・幼児教育や保育関連企業への積極的訪問且つ新規産学連携の確立

③ 特記事項

特になし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・留学生受け入れに伴う知識の醸成および留学生の就職先確保

② 今後の改善方策

・保育士、幼稚園教諭に限らない様々な職種(英語指導者等)における求人の確保・開拓

③ 特記事項

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

＜林副校長＞

・時代のニーズに合った“実践的な職業教育”の確立が必要と考える。社会のニーズに対する即応性を大切に、職業能力等に特化した実学の学校を目指すことで専門学校として価値を見出していきたい。